

モモ新品種‘さくひめ’の特性

‘日川白鳳’より早く収穫でき、核割れが少なく、食味良好な早生モモ

交配親 ‘Coral’ (ブラジルより導入) ×
育成系統(ちよひめ、あかつきなど)

育成者 (国法)果樹茶業研究部門(つくば市)

登録年 2017年6月28日

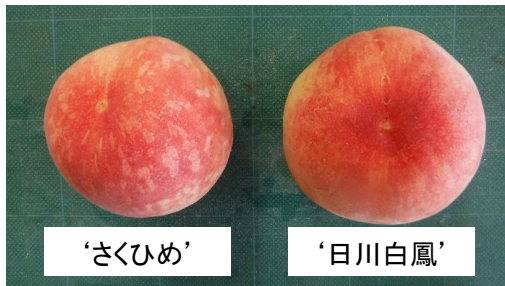
収穫期 6月下旬(‘日川白鳳’より数日早い)

果実品質(果樹研究センター、2016年と2017年平均)

品種名	開花始期 (月/日)	収穫始期 (月/日)	果実重 (g)	糖度 (° Brix)	pH	果形	核割れ
さくひめ	3/23	6/20	224	12.2	4.11	円	少
日川白鳳	4/4	6/25	251	11.7	3.87	扁円	多



収穫期の‘さくひめ’



果実の比較

○‘日川白鳳’よりもやや小玉であるが、糖度が高く品質は安定する。
また、自家結実性を有しており結実も安定している。

○発芽期が早いため晩霜害に注意する必要があるが、開花期は‘日川
白鳳’より約12日早く、収穫期は5日程度早い。

○早生品種で問題になりやすい核割れは少ない。

○温暖化の進展により低温要求時間が足りなくなることが懸念さ
れるが、‘さくひめ’は7.2℃以下の低温要求時間が555時間であり、
‘日川白鳳’の1173時間の約半分である。今後、冬季の気温が上昇
しても、安定した開花が見込まれる。

○苗木の供給は平成29年秋季より始まる予定である。